

アーティフィシャルフラワーは「人工的な花」の意味。近年は、ポリエステルなどの布に熟練職人が花びら一枚一枚を手描きで仕上げたものなど、高品質な素材が出回り、愛好家が増えている。多彩な材料で自由に造形でき、デザイン性高い作品を作れることから、インテリアやアクセサリ、ファッションの小物にと活用の方が広がっている。

オリジナル作品を公募した「第1回アーティフィシャルフラワー大賞2011」は、「夏の装い」をテーマに、アクセサリや帽子飾りなどのファッション部門と、壁掛けや室内外装飾品などが対象のインテリア部門の2部門で募集。537点の応募があった。

審査員でブライダルファッションデザイナーの桂由美さんは「全体に水準が高く、大賞が出たインテリア部門で力作が目立った」と総括。「透明感を表現できる樹脂粘土を使うなど、布以外の素材に挑戦する意欲的な作品もあった。会場で、アーティフィシャルフラワーの可能性の広がりを感じてほしい」と話している。

## アーティフィシャルフラワーフェスティバル

大賞・文部科学大臣賞  
「Wish of Japan」



二階堂 智子さん

# 造花の魅力満開



野の花を多彩に盛り込み、花や草が空に向かう伸びやかな作品に仕上げた。「自宅の庭を切り取ったような、和んだり癒やされたりする作品を心掛けてきた。表現が認められて、うれしい」

受賞作には、ストロベリーキャンドルやスノーボールなど、何度も訪れた福島で見ただ草花を使い、成長しようとする姿をイメージした。東日本大震災の後、自分できることとを考え、大好きな草花で被災地への思いを表現することに。「福島の豊かな自然や人が、力強くよみがえってほしいとの願いを込め

ました」  
フリーのデザイナー  
ナーのアシスタントを経て、自身もフリーのデザイナーになりました」  
繊細な表現ができて長持ちするアーティフィシャルフラワーの魅力を知り、本格的に取り組むようになった。「草花の陰に虫を探したり、小さい頃に遊んだ野原を思い出したり、見る人の想像力が膨らむ作品を作り続けたい」と話す。

### 主な受賞者(敬称略)

- 大賞・文部科学大臣賞  
二階堂智子(東京都)「Wish of Japan」
- インテリア部門
- 準大賞・読売新聞社賞 泉尚子(埼玉県)「涼風」
- 準大賞・アーティフィシャルフラワー大賞実行委員会賞 荒木晶代(愛知県)「風と雨と」
- 優秀賞・財団法人日本余暇文化振興会賞 鈴木典子(静岡県)「涼」
- 優秀賞・一般財団法人日本生涯学習協議会賞 滝川知津子(茨城県)「初夏の香」
- 審査員奨励賞 清水登志子(群馬県)「ローズタワー」
- HIROMICHI(神奈川県)「夏のかほり」
- 特別賞・桂由美賞 南野豊子(大阪府)「ohisama ひまわり」
- 特別賞 和出奈穂子(東京都)「装いのオブジェ」

- ファッション部門
- 準大賞・読売新聞社賞 HIROMICHI(神奈川県)「夏の庭」
- 準大賞・アーティフィシャルフラワー大賞実行委員会賞 藤井ますみ(東京都)「summer clear bouquet」
- 優秀賞・財団法人日本余暇文化振興会賞 都倉八重子(神奈川県)「涼風」
- 優秀賞・一般財団法人日本生涯学習協議会賞 渡辺ちさ(東京都)「Sweet White」
- 審査員奨励賞 Maco(埼玉県)「夕暮れのサンダルーアンスリウム」
- 真優実(長野県)「Vert Safari」
- 広田由美(三重県)「Butterfly」
- 特別賞・桂由美賞 Mifu Wakisaka(和歌山県)「森ガール pretty プーク」
- 特別賞 山崎淳子(鹿児島県)「シャーベットプーク」